

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	幼児と健康						授業形態		講義	
科目コード	750187	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	宮内 孝								ICT活 用	
授業概要	授業の到達目標及びテーマ 幼児期の健康課題や体の諸機能の発達そして運動発達を理解した上で、その課題解決や発達を促すための環境整備や子どもへの指導、そして保護者のサポートができるような視点がもてるようになることを目標とした授業です。授業者は、幼児を対象とした運動教室において運動遊びの指導に13年間携わってきました。また、授業科目幼児体育の指導を通して、幼児期の運動と健康についての指導のあり方について検討してきました。この実践を通して得た知見を活用して、本授業の学修が深められるようにします。									
関連する科目	授業後は、発達心理学・幼児体育を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	この授業では、予習課題を提示してその予習での学びを活用したグループワークを取り入れて、主体的に課題解決に取り組みながら、学びを深めるようにします。									
授業計画 【第1回】	第1回：幼児の健康 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。									
授業計画 【第2回】	第2回：体の諸機能の発達と生活習慣の形成 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。									
授業計画 【第3回】	第3回：安全な生活とけがや病気の予防① 安全な生活とけがや病気の予防を理解する。									
授業計画 【第4回】	第4回：安全な生活とけがや病気の予防② 幼児期のけがの特徴を踏まえた対応や安全管理について体験的に学ぶ。									
授業計画 【第5回】	第5回：幼児期の運動発達と身体活動① 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。									
授業計画 【第6回】	第6回：幼児期の運動発達と身体活動② 幼児期の運動発達を促すための環境設定の在り方について体験的に学ぶ。									
授業計画 【第7回】	第7回：幼児期の運動発達と身体活動③ 幼児期の運動発達を促すための運動遊び教材の工夫について体験的に学ぶ。									
授業計画 【第8回】	第8回：幼児期の「健康」にかかわる現代的課題について理解する。 現代の幼児のおかれた社会的環境の課題について理解をして、子どもにかかわる専門職としての役割や今後の取り組みについて考察します。									
授業の到達目標	1. 幼児期の健康課題や体の諸機能の発達そして運動発達のプロセスが言える。 2. 幼児期の発達上の課題解決や発達を促すための環境整備や子どもへの指導の要点が言える。 3. 幼児の健康や運動発達を支える保護者のサポートの視点が言える。									
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)									

授業の到達目標

1. 幼児期の健康発達や身体能力の発達と運動発達の子どもへの指導の要点が言える。
2. 幼児期の発達上の課題解決や発達を促すための環境整備や子どもへの指導の要点が言える。
3. 幼児の健康や運動発達を支える保護者のサポートの視点が言える。

授業時間外学習【予習】	・ 本時学修内容の理解を促し課題を明確にもたつための予習課題に取り組んで、授業にのぞむ。
授業時間外学習【復習】	・ 復習プリントへの取組を通して、授業を通して分かったことを端的にまとめて学修内容の習熟を図ると共に、疑問点を明確にして次時の課題につなげる。
課題に対する フィードバック	・ 復習プリントを通して学修習得の様子をは把握するとともに、疑問点について回答するように努める。
評価方法・基準	下記の合計70点以上を合格とします。 ・ レポート20点 ・ 定期試験80点
テキスト	その都度資料を配布します。
参考書	参考書・参考資料等 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領
備考	